

マニカルニカ ジャーンシーの女王 (2019)

MANIKARNIKA: THE QUEEN OF JHANSI

メディア 映画

ジャンル アクション アドベンチャー

製作国 インド

色彩 Color

時間 148分

初公開日 2020/01/03

公開情報 ツイン

映倫 PG12

【キャッチコピー】

気高き騎乗の王妃。その戦いの真実。

【解説】

イギリスの植民地支配に抵抗した“インド大反乱”で活躍し“インドのジャンヌ・ダルク”とも称されたジャーンシーの女王ラクシュミー・バーイー（マニカルニカ）の生涯を描いたスペクタクル歴史アクション。主演は「クイーン 旅立つわたしのハネムーン」のカンガナー・ラーナーウト。監督はインドのテルグ語映画の実力派で、本作が初めての本格的なヒンディー語映画となるラーダ・クリシュナ・ジャガルラムディ。

ヴァラナシで僧侶の娘に生まれたマニカルニカは、幼い頃から武術を習い、たくましく成長していく。やがてジャーンシー藩王国の藩王ガンガーダル・ラーオのもとへと嫁ぎ、ラクシュミーという名を与えられる。しかしその後、藩王が病死してしまうと、その機に乗じてイギリスは藩王国を併合、ラクシュミーも城を後にしなければならなくなるのだったが…。

【クレジット】

監督 ラーダ・クリシュナ・ジャガルラムディ Radha Krishna Jagarlamudi

脚本 V・ヴィジャエンドラ・プラサード V. Vijayendra Prasad

出演	カンガナー・ラーナーウト	Kangana Ranaut	マニカルニカ／ラクシュミー・バーイー
	ジッシュ・セングプタ	Jisshu Sengupta	ガンガーダル・ラーオ
	ダニー・デンゾンパ	Danny Denzongpa	グラーム・ガウス・カーン
	スレーシュ・オベロイ	Suresh Oberoi	宰相バージーラーオ2世
	アトゥル・クルクルニ	Atul Kulkarni	タンティヤ・トーペー
	クल्ブーシャン・カルバンダ	Kulbhushan Kharbanda	ディクシト
	アンキター・ローカンデー	Ankita Lokhande	ジャルカリ・バーイー